

臨床研究に関する情報公開

「80歳以上の高齢者に対する膵頭十二指腸切除の検討」へのご協力をお願い

当院の研究責任者

外科 加藤憲治

他の研究機関および各施設の研究責任者

なし

研究の対象

当院で膵頭十二指腸切除術を施行した80歳以上の患者さんが対象です。

研究目的・方法

膵頭部領域悪性腫瘍に対する根治手段としては膵頭十二指腸切除（PD）が標準的に選択されます。しかし、PDは消化器外科手術の中でも特に技術的難度が高く、侵襲も大きい術式であり、術後合併症の発生頻度は依然として高いです。一方、急速な高齢化に伴い、80歳以上の高齢者が膵頭部領域悪性腫瘍に罹患する機会は増加傾向にあります。高齢者では心肺機能の低下や多彩な併存疾患、さらには栄養・身体予備能の減弱を背景に、手術侵襲に対する耐性が低いことがしばしば問題となります。そのため、このような高齢者に対して高侵襲手術であるPDを適応すべきかどうかは、臨床現場において議論となります。そこで当科においてPDを施行した80歳以上の高齢者の治療成績を検討し、その妥当性を検証し、今後の診療に利用することを目的としました。

研究に用いる試料・情報の種類

検査所見やカルテ記載、病理組織所見等の診療情報

外部への試料・情報の提供

ありません

個人情報の取扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

研究資金源・利益相反

ありません

お問い合わせ先

0598-21-5252 加藤憲治